

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第59期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	ジオマテック株式会社
【英訳名】	GEOMATEC CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松崎 建太郎
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 中村 和正
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 中村 和正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第58期 第2四半期連結 累計期間	第59期 第2四半期連結 累計期間	第58期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	4,523,868	5,036,805	8,971,318
経常利益(千円)	715,862	771,486	1,310,506
四半期(当期)純利益(千円)	717,876	639,444	818,748
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	584,632	615,585	639,482
純資産額(千円)	15,992,666	16,411,622	15,921,777
総資産額(千円)	19,793,886	24,190,511	24,427,176
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	85.63	76.28	97.67
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	80.8	67.8	65.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	867,545	150,414	1,665,273
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	439,522	502,617	1,210,590
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	534,610	517,244	28,845
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	7,477,309	7,173,104	8,052,120

回次	第58期 第2四半期連結 会計期間	第59期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	37.33	37.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第58期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災による停滞からサプライチェーンの復旧に伴う持ち直しの動きが続いているものの、期後半にかけては米国の景気減速懸念に加え、欧州諸国の金融・財政危機による急激な円高の進行により先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォンの好調な販売に支えられ概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は50億36百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。損益につきましては、売上高の増加により、営業利益は7億43百万円（前年同四半期比4.8%増）、経常利益は7億71百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。四半期純利益は、東日本大震災後に発生した余震による損失額を1億27百万円の特別損失として計上したことから6億39百万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

（FPD用基板）

FPD用基板につきましては、LCDパネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜がスマートフォンの販売伸長により堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は38億68百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

（光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクター用光学機器部品を中心に販売活動に取り組みましたが、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は5億34百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、太陽電池向け電極膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は6億33百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円減少し、71億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億50百万円（前年同四半期比82.7%減）となりました。

これは主に、売上債権の増加額5億16百万円及び仕入債務の減少額3億38百万円の資金減少要因に加え、災害損失の支払額1億22百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5億2百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出6億6百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億17百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出3億91百万円と配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億43百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,152,400	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,152,400	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～	-	9,152,400	-	4,043,850	-	8,297,350
平成23年9月30日						

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
松崎 隆造	神奈川県横浜市中区	1,050	11.48
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	769	8.41
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	542	5.92
松崎 建太郎	神奈川県横浜市中区	421	4.60
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-12	418	4.57
有限会社松崎興産	東京都品川区大井1-45-6	336	3.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	303	3.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	215	2.34
ジオマテック従業員持株会	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	206	2.26
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	154	1.68
計	-	4,419	48.28

(注)「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」の所有株式数418千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 769,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,381,400	83,814	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,152,400	-	-
総株主の議決権	-	83,814	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	769,700	-	769,700	8.40
計	-	769,700	-	769,700	8.40

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,399,826	6,420,789
受取手形及び売掛金	6,632,639	7,140,394
有価証券	752,693	752,715
商品及び製品	115,459	189,153
仕掛品	322,383	259,985
原材料及び貯蔵品	727,577	756,664
その他	118,011	130,395
貸倒引当金	2,196	2,366
流動資産合計	16,066,394	15,647,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,815,302	1,719,649
機械装置及び運搬具(純額)	2,169,132	2,047,663
土地	2,396,393	2,396,393
その他(純額)	370,844	819,559
有形固定資産合計	6,751,672	6,983,266
無形固定資産	44,290	42,542
投資その他の資産		
投資有価証券	776,835	723,782
その他	789,876	794,339
貸倒引当金	1,894	1,150
投資その他の資産合計	1,564,818	1,516,970
固定資産合計	8,360,781	8,542,779
資産合計	24,427,176	24,190,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,346,007	4,008,566
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	775,508	768,008
未払法人税等	32,141	25,563
賞与引当金	197,589	205,143
役員賞与引当金	12,000	-
災害損失引当金	-	47,707
その他	757,184	711,617
流動負債合計	6,170,431	5,816,606
固定負債		
長期借入金	1,825,929	1,441,925
退職給付引当金	234,292	245,592
役員退職慰労引当金	252,095	252,095
その他	22,651	22,669
固定負債合計	2,334,968	1,962,281
負債合計	8,505,399	7,778,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	4,635,016	5,148,721
自己株式	811,124	811,124
株主資本合計	16,165,091	16,678,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,108	20,268
為替換算調整勘定	267,423	246,905
その他の包括利益累計額合計	243,314	267,173
純資産合計	15,921,777	16,411,622
負債純資産合計	24,427,176	24,190,511

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	4,523,868	5,036,805
売上原価	2,969,543	3,435,881
売上総利益	1,554,325	1,600,924
販売費及び一般管理費	1 845,360	1 857,841
営業利益	708,964	743,083
営業外収益		
受取利息	15,418	14,124
受取配当金	6,648	5,792
不動産賃貸料	17,330	13,641
助成金収入	-	12,704
その他	14,761	22,608
営業外収益合計	54,158	68,870
営業外費用		
支払利息	15,230	14,691
為替差損	19,209	13,647
不動産賃貸費用	8,084	8,327
その他	4,736	3,800
営業外費用合計	47,260	40,466
経常利益	715,862	771,486
特別利益		
貸倒引当金戻入額	558	-
固定資産売却益	6,226	-
特別利益合計	6,785	-
特別損失		
災害による損失	-	2 127,965
投資有価証券評価損	576	8,201
固定資産処分損	323	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,574	-
特別損失合計	19,474	136,166
税金等調整前四半期純利益	703,173	635,319
法人税、住民税及び事業税	5,555	5,350
法人税等調整額	20,258	9,475
法人税等合計	14,703	4,125
少数株主損益調整前四半期純利益	717,876	639,444
四半期純利益	717,876	639,444

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	717,876	639,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,591	44,377
為替換算調整勘定	51,652	20,518
その他の包括利益合計	133,244	23,859
四半期包括利益	584,632	615,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,632	615,585
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	703,173	635,319
減価償却費	323,932	395,106
固定資産売却損益(は益)	6,226	-
固定資産処分損益(は益)	323	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,574	-
災害損失	-	127,965
投資有価証券評価損益(は益)	576	8,201
貸倒引当金の増減額(は減少)	558	573
賞与引当金の増減額(は減少)	22,213	7,554
役員賞与引当金の増減額(は減少)	5,000	12,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,123	11,300
受取利息及び受取配当金	22,067	19,916
支払利息	15,230	14,691
為替差損益(は益)	17,487	11,888
売上債権の増減額(は増加)	194,234	516,045
たな卸資産の増減額(は増加)	14,625	38,101
仕入債務の増減額(は減少)	76,524	338,134
その他	42,023	14,489
小計	865,671	272,769
利息及び配当金の受取額	22,210	20,364
利息の支払額	14,815	14,424
災害損失の支払額	-	122,855
法人税等の支払額	11,110	11,110
法人税等の還付額	5,588	5,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	867,545	150,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	400	400
定期預金の払戻による収入	400	400
有価証券の取得による支出	100,000	-
有価証券の償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	359,269	606,301
有形固定資産の売却による収入	21,000	4,410
投資有価証券の取得による支出	4,243	2,225
投資有価証券の償還による収入	3,885	2,700
貸付けによる支出	12,027	12,576
貸付金の回収による収入	11,132	11,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	439,522	502,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	50,000	-
長期借入金の返済による支出	358,804	391,504
自己株式の取得による支出	65	-
配当金の支払額	125,741	125,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	534,610	517,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,203	9,568
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	125,790	879,015
現金及び現金同等物の期首残高	7,603,100	8,052,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,477,309	7,173,104

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。
(有償支給材料代金の会計処理方法) 従来、「売上高」及び「売上原価」に計上しておりました取引先からの有償支給材料に係る代金は、前第3四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」から控除する方法に変更しました。 この変更により、当第2四半期連結累計期間の「売上高」及び「売上原価」は従来の方法に比べ14,588,618千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。 また、前第2四半期連結累計期間の「売上高」及び「売上原価」は変更後の方法に比べ14,554千円それぞれ多く計上されておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。
(災害損失引当金) 平成23年4月7日に発生した地震により被害を受けた固定資産の原状回復費用、解体費用及び除却損失のうち、当第2四半期連結会計期間末後に発生すると見込まれる金額を見積計上しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																
有償支給材料代金相当額が次の科目に含まれております。	有償支給材料代金相当額が次の科目に含まれております。																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">3,326,653千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">105,035千円</td> </tr> <tr> <td>原材料</td> <td style="text-align: right;">110,701千円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">3,553,176千円</td> </tr> </table>	売掛金	3,326,653千円	仕掛品	105,035千円	原材料	110,701千円	買掛金	3,553,176千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">3,029,915千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">985千円</td> </tr> <tr> <td>原材料</td> <td style="text-align: right;">74,565千円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">3,109,243千円</td> </tr> </table>	売掛金	3,029,915千円	仕掛品	985千円	原材料	74,565千円	買掛金	3,109,243千円
売掛金	3,326,653千円																
仕掛品	105,035千円																
原材料	110,701千円																
買掛金	3,553,176千円																
売掛金	3,029,915千円																
仕掛品	985千円																
原材料	74,565千円																
買掛金	3,109,243千円																

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">147,804千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">31,792千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">16,413千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">247,442千円</td> </tr> </table>	給料手当	147,804千円	賞与引当金繰入額	31,792千円	退職給付費用	16,413千円	研究開発費	247,442千円	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">150,040千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">32,529千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">18,696千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">243,564千円</td> </tr> </table>	給料手当	150,040千円	賞与引当金繰入額	32,529千円	退職給付費用	18,696千円	研究開発費	243,564千円
給料手当	147,804千円																
賞与引当金繰入額	31,792千円																
退職給付費用	16,413千円																
研究開発費	247,442千円																
給料手当	150,040千円																
賞与引当金繰入額	32,529千円																
退職給付費用	18,696千円																
研究開発費	243,564千円																
	2. 災害による損失 平成23年4月7日に発生した地震による損失額でありその主な内容は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">固定資産の原状回復費用</td> <td style="text-align: right;">41,709千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産の解体費用及び除却損失</td> <td style="text-align: right;">71,220千円</td> </tr> <tr> <td>棚卸資産の滅失損失</td> <td style="text-align: right;">14,641千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">394千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">127,965千円</td> </tr> </table>	固定資産の原状回復費用	41,709千円	固定資産の解体費用及び除却損失	71,220千円	棚卸資産の滅失損失	14,641千円	その他	394千円	計	127,965千円						
固定資産の原状回復費用	41,709千円																
固定資産の解体費用及び除却損失	71,220千円																
棚卸資産の滅失損失	14,641千円																
その他	394千円																
計	127,965千円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)
現金及び預金勘定 6,825,037千円	現金及び預金勘定 6,420,789千円
預入期間が3か月を超える定期預金 400千円	預入期間が3か月を超える定期預金 400千円
有価証券勘定(マネー・マネージメント・ファンド、金銭信託) 752,671千円	有価証券勘定(マネー・マネージメント・ファンド、金銭信託) 752,715千円
保有期間が3ヶ月を超える金銭信託 100,000千円	現金及び現金同等物 7,173,104千円
現金及び現金同等物 7,477,309千円	

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	125,741	15	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月9日 取締役会	普通株式	125,740	15	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月9日 取締役会	普通株式	125,740	15	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	85円63銭	76円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	717,876	639,444
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	717,876	639,444
普通株式の期中平均株式数(株)	8,382,728	8,382,668

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....125,740千円
- (2) 1株当たりの金額.....15円
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月2日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

ジオマテック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	御子柴 顯 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北方 宏樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジオマテック株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジオマテック株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。